

令和3年度第2回萩市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和3年8月13日（金）14：00～

場 所：萩市役所2階 大会議室

1. 開会

【事務局】 只今から、令和3年度第2回萩市地域公共交通会議を開催致します。

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠に有難うございます。

議事に入るまでの進行を担当させていただきます、事務局の萩市商工振興課の山本と申します。よろしくお願い致します。

会議の開催にあたり、会議の成立要件を確認いたします。

本日は、委員26名のうち、代理出席も含め18名の委員に出席していただいておりますので、会議の成立要件を満たしていることを報告致します。

なお、本会議の副会長 九州大学大学院 高野教授は、コロナ感染症に配慮して、リモートでの参加です。

あわせて、本日の議題の萩循環まあるバスの見直しに係る業務を行っております日本工営株式会社から、議事の説明を受けますが、こちらもリモートでの参加です。

それから、本日、報告事項としまして、阿武町コミュニティワゴンの運行変更計画案がありますので、オブザーバーとして、阿武町と山口運輸支局 運輸企画のご担当者に出席いただいております。

本日の会議は、設置要綱第4条第7項に「交通会議は、原則として公開とする」と規定されていることから、公開とさせていただきます。

なお、会議の開催結果につきましても、基本的に議事録などを市のホームページ等で公表することとしておりますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、本日の会議資料を確認させていただきます。

本日の会議資料は、次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、それから、会議に係る資料として、資料1～資料3まで用意しております。

資料の不足がございましたら、会議の進行中でもお伝えいただければ、用意致しますので、よろしくお願い致します。

それでは、開会にあたりまして、本会議の会長 萩市商工観光部 山本理事がご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

【会長】 本日は雨の中、またお盆の中、ご出席ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の第5波が広がっている中、山口県でも多くの感染者が確認されている状況です。このため、移動自粛の動きもあり、公共交通の利用者が減少している状況です。このような中、生活に欠かせない移動手段として利用しやすい交通手段を、交通事業者の協力を頂き構築しています。萩市交通ネットワーク計画に位置付けている萩循環まあるバスの見直しについて、住民の要望や利便性、様々な地区からの延伸要望等の様々な視点から、前回の会議で5つの案をお示したところでした。今回は本格運行に向けて、実証運行を行うにあたり、運行計画の内容について協議をお願いしたいと存じます。忌憚のないご意見をよろしく願いいたします。

3. 報告事項

(1) 萩市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について（資料1）

【事務局】 資料1に基づき説明（省略）

(2) 阿武町コミュニティワゴン運行変更計画案について（資料2）

【事務局】 資料2に基づき説明（省略）

【会長】 只今、事務局から説明がありましたが、報告案件ですので、これで終わりますが、特に意見はございますでしょうか。

【萩地域住民代表 稲原委員】 資料2の報告は、この内容で運行を開始するということでしょうか。

【事務局】 当該コミュニティワゴンは、阿武町主体のため、阿武町の公共交通会議で協議されることとなっており、了承が得られた内容で運行されます。

萩市地域公共交通会議については、当該コミュニティワゴンの運行計画の変更に、路線の一部に萩市が含まれますので、当会議で報告させていただきました。

4. 議事

(1) 萩循環まあるバスの運行ルートの見直しに係る実証運行計画について（資料3、資料3別紙）

【事務局】資料3、資料3別紙を説明。

【会長】今回の議事につきましては、実証運行ルートと実証運行の内容の決定を主に、それに伴う必要な手続きについては、今後、関係機関と協議・調整することとしております。

【県バス協会 藤原専務理事】実証運行案を経て本格運行ということですが、所要時分の遅れ等の見直し基準や、何人なら本格運行とするのか、また経費増については考慮しているのでしょうか。また、遅れ発生時に改善基準を満たせるかを含めて質問しました。

【事務局】時間調整については、防長交通と試走を行い、ダイヤを検討しています。現行ダイヤと比較して、市役所での折り返し時間は取れています（現行4分→実証10分）。実証実験で恒常的に10分以上遅れる便がある場合は、実証実験結果を踏まえて、所要時分を再検討します。実証運行の検証方法ですが、利用者にアンケートを取ることであります。現行ルートとの並走で行いますので、バス停で何人という定量的な基準というよりは、利用者の定性的な意見を参考にしたいと考えています。また、所要時分が適切か、といった視点も、いただいたご意見を踏まえて検証してまいります。本格運行時の経費については、改めて防長交通と協議してまいります。

【副会長】実証運行の際には、平常運行と重なる形ということでしょうか。

【事務局】そうです。既存バス停での利用者もおられるため、利便性を考慮し、通常便を運行しながら実証運行を追加するものです。周知期間を取り、積極的に両方乗ってほしいというPRを実施したいと考えています。また、実証運行の車両については、現車両との違いが判断できるよう、別車両で行うこととしております。

【会長】現行ルートとの並走のため、利用に当たって混乱が生じないように、周知期間を設けて行いますので、よろしくお願いいたします。

【萩警察署 河合交通課長】スケジュールが示されていますが、実証運行に向けて、新設バス停の道路使用許可を取る期間が必要だと考えます。

【事務局】道路使用許可、道路占用許可の申請期間も踏まえたスケジュールで考えています。

【会長】運輸支局から、ご意見があればお願い致します。

【運輸支局 蔦専門官】路線新設、バス停留所の新設について、本会議で承認を得られれば問題はありません。

【社会福祉協議会 山本課長】各地区で行われています住民主体の会合で、公共交通について協議をされている地区もあり、この会合に社協も参加していますので、例えば、そのような会合で、この度の実証運行の利用体験を促すということも出来ればと思います。

【事務局】広報やチラシ配布で周知を図りますが、普段は利用されていない方も含めて、そのような機会を通じて周知し、ご意見もいただければと思います。社会福祉協議会のみならず、町内会でもPRに協力いただければと思います。

【運輸支局 蔦専門官】東回りの実証運行ルートに反射炉の乗り入れがありますが、これは、昨年度に実施された調査事業による調査結果を組み入れたといことでしょうか。

【事務局】今春に実施しました外国人モニターツアー等でも、市内の観光地への乗り入れの意見がありました。また、当市は観光の町ということで、観光客の移動手段の確保も考慮し、世界遺産の萩反射炉を追加したものです。

【会長】運行ルートについては、先程のご質問と事務局の回答のとおり、前回のアンケート調査結果等を踏まえています。

また、実証運行は、西回り東回り共に5便/日としていますが、これは、資料にも記載しています本格運行時に想定されるダイヤ案を基に実証運行を行うこととしています。

本格運行は、現段階でのダイヤで、最大16便の運行便数として記載しておりますが、実証運行を踏まえて、今後、ダイヤ等の調整が必要となることも考えられますので、ご理解いただければと思います。

また、先程、バス停設置に関するご意見がありました。これから道路管理者や公安委員会へ申請等でご協力をお願いしたいと思います。

【会長】その他、意見がなければ、議事（１）について、一部、調整が必要なものを除き、運行ルートや実証運行内容について、ご承認いただける方は挙手をお願い致します。

－ 全員挙手につき承認 －

【会長】利便性の高い市街地交通として、しっかりと実証してまいりたいと思います。

【副会長】少し、今後について意見を申し上げます。これから、実証運行に進んでいきますが、当バスは、萩市中心部の住民のみならず、離島住民や周辺部の方の利便性を高めるものであるのは言うまでもありません。今後、本格運行となる場合、減便として捉えられることも考えられますし、西回りの運行ルートは、現状からの変更が大きいと思われまますので、この辺りは懸念事項と考えます。十分に市民の方の意見を聞くことが重要ですし、公共交通に乗ることができない方の意見をどういただいでいくのか、そういったことも重要であり、今後も注視してまいりたいと思います。

【会長】中心部の住民のみならず、多くの方が利用しやすいバスにしていきたいと考えています。

5. その他

【会長】本日の議事はこれで終了となりますが、その他、何かありましたらお願いします。

【県バス協会 藤原専務理事】本日の会議の場をお借りして、県内のバス事業者の状況について説明させていただきたいと思ひます。

コロナ禍の関係で、県内のバス事業者の影響について調査を行ってきまました。本年3月から一般路線はプラスに転じています、対前年比との比較であるため、コロナ禍前の年度と比較すると引き続き非常に厳しい状況です。

年間通し、県全体で、乗合バス事業者7社で23.5%減の状況です。路線バスは行

政からの補助金と、高速バスや貸切バスの利益で内部補填を行っている状況がありますが、特に高速バスや貸切バスが低迷している非常に厳しい状況にあります。貸切バスは年間通して75%減です。是非、この状況を関係の方にも共有してもらえたらと思っています。

【会長】：情報提供、ありがとうございました。

それでは、先程、ご協議いただきました萩循環まあるバスの運行ルートの見直しに係る実証運行につきましては、スケジュールのとおり、今後、実証運行の実施に向けて進めていきます。

本日の議事はこれで終了となります。

委員の皆様には、議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

進行を事務局へお返しします。

6. 閉会

【事務局】 委員の皆様には、長時間にわたってご議論をいただき、誠にありがとうございました。

なお、今回お示ししました内容から大きく変更となる場合は、委員の皆様にお集まりいただくこともあるかもしれませんが、改めてお知らせ致しますので、よろしく願います。

以上をもちまして、令和3年度第2回萩市地域公共交通会議を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

以上